

4 小売業の状況

(1) 売場面積

売場面積	1,589,388m ²	対前回	80,725m ² 増	(前回比 5.4%増)
1事業所当たり売場面積	103.0m ²	対前回	11.8m ² 増	(同 12.9%増)
売場面積1m ² 当年間商品販売額	77万円	対前回	8万円減	(同 △ 9.4減)

(2) 業態の動向 [表10]

【事業所数】

業態別の事業所数割合をみると、専門店が9,479事業所(小売業全体の61.4%)と最も多く、次いで中心店が4,534事業所(同29.4%)となっており、この2業態で小売業全体の9割を占めている。また、百貨店は9事業所となっている。

セルフサービス方式を主に採用している事業所は、総合スーパーが21事業所(同0.1%)、専門スーパーが443事業所(同2.9%)、コンビニエンス・ストア(以下コンビニという)が319事業所(同2.1%)、ドラッグストアが174事業所(同1.1%)、その他のスーパーが415事業所(同2.7%)であった。

前回比をみると、ドラッグストアが大幅な増加となり、その他の小売店、中心店、コンビニ等も増加している。その他のスーパー、専門店は減少となっている。

各業態の内訳をみると、専門スーパーでも衣料品スーパー(前回比42.9%増)、ホームセンターを含む住関連スーパー(同47.6%増)が大幅に増加している。

また、コンビニも終日営業店(同61.7%増)が大幅に増加している。

【従業者数】

業態別の従業者数割合をみると、専門店が小売業全体の49.7%と最も多く、次いで中心店が21.1%となっており、この2業態で小売業の7割を占める。

また、専門スーパーが11.8%、コンビニが4.8%となっている。

【年間商品販売額】

業態別の年間商品販売額割合をみると、専門店が小売業全体の40.2%と最も高く、次いで中心店の21.3%、専門スーパーの17.1%となっている。